



聞こえのチェックリスト & 受診勧奨票

当てはまるかどうか確認してみましょう！

チェック内容	該当する場合、 ○を付けましょう
会話をしているとき、聞き返すことがよくありますか。	
相手の言った内容を聞き取れなかったとき、推測で言葉を判断することがありますか。	
電子レンジの「チン」という音や、ドアのチャイムの音が聞こえにくいと感じることがありますか。	
家族に、「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われますか。	
大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感じますか。	

1つでも○が付いた方、ご自身の「聞こえ」が気になる方は、耳鼻科医師(補聴器相談医)への相談をおすすめします。



「聞こえづらさ」が進むと、生活する上でこのような支障が起きる可能性があります。

- 必要な音が聞こえず、危険を察知する能力が低下する
- 家族や友人とのコミュニケーションがうまくいかなくなる
- 社会的に孤立し、うつ状態に陥る

このような状態が続くと、認知機能に影響をもたらす可能性もあると言われています。気になったら早めに耳鼻科医師に相談するようにしましょう！

一般社団法人 日本臨床耳鼻咽喉科医会

お問合せ先

山鹿市地域包括支援センター (TEL: 0968-43-1077)